



生産性の高い新たな働き方をチーム全体で創出するために

オンライン可

働き方改革のための業務効率化研修～生産性向上を目指して～

研修時間 / 7時間

<b>対象</b>	管理者、職場リーダー（係長・主任相当の監督者層）、中堅社員、労働組合幹部		
<b>参加費</b> (消費税10%込)	賛助会員	一般	*うち食事代 1,650円
	34,650円 オンライン研修	37,950円 オンライン研修	オンラインは食事なし

<b>講師</b>	日本生産性本部 主席経営コンサルタント 三枝 久芳
<b>会場</b>	日本生産性本部セミナー室(東京・永田町) 他
<b>定員</b>	30名

01 開催日程

2021年  
第7回  
6月10日(木)  
  
第8回  
11月19日(金)



9:30開始

- 1. 働き方改革と労働生産性**
  - 働き方改革とは一狙いを明確にする
  - 労働生産性
- 2. 業務効率化取組み事例紹介**
  - 働き方改革の他社事例
    - 仕組みに関する事例
    - 人材育成・能力に関する事例
    - 意識に関する事例
- 3. 労働生産性向上の着眼点**
  - 働き方改革が難しい理由
    - 意識の問題
    - 仕組みの問題
    - 能力の問題

第1日

- 4. 労働生産性向上の手法**
  - 労働生産性向上活動の進め方
    - ロードマップ作成・対象業務設定
    - 業務詳細調査～巻紙分析～
    - 改善案策定・改善活動実施
- 5. 実践のポイント**  
～チームワークによる実践～
  - ケーススタディ「モンタナの森林火災」
- 6. 振り返り～明日からの実践に向けて～**
  - リーダーの役割とお勧めする考え方
  - やりたいことリストのまとめ・共有

17:30終了

期待される効果

- 働き方改革・生産性向上への正しい知識を習得し、その重要性や自組織での目的を明確化できます
- 他社事例や巻紙分析等の手法の学習、やることリストの作成を通じ、職場での実践につなげます
- テレワーク導入等働き方が多様化する中で、チーム全体での改善におけるリーダーへ成長できます

プログラム構成



講師のコメント

三枝 久芳

管理・間接部門などの生産性改善に困っているという声を多くいただいています。意識の問題、仕組みの問題、能力の問題という複数の視点で検討しませんと、思ったような効果が得られません。また、業務がブラックボックスになっているケースも多く、対応に苦慮されているようです。そこで、コンサルタントが業務改善で実際に用いている手法や実践での留意点を学んでいただき、自組織の改善に一歩踏み出せるようになっていただきます。



受講者の声

- 生産性向上・働き方改革の目的やポイント、具体的な取組みを体系的・実践的に理解できた。
- 業務改善・効率化を行う上でチームが一丸となること、そしてそのためにリーダーが行うべき働きかけが何か理解できた。
- 具体例(改善事例)と演習と良いバランスだった。学習した業務改善手法(巻紙分析等)は自職場で展開したいと思った。

▶ 本コース受講後の推奨プログラム

- ①実践型問題解決セミナー(P.76)
- ②ロジカルシンキングコース(P.78)